

(参考3)

玄海原子力発電所 第3号機 第14条第2項に対する適合性の整理表(1/3)

原子炉冷却系統施設				3V-CS-005A,B,C	参照資料	
第14条	第2項	安全施設	環境条件における健全性	温度	・環境温度(144℃ <input type="text"/>)	【設置場所】C/V内 【環境温度】新規制工認添付資料6(健全性) 2.3項 【設計値】本文要目表 機器仕様による比較
				圧力	・環境圧力(0.392MPa <input type="text"/>)	【環境圧力】新規制工認添付資料6(健全性) 2.3項 【設計値】本文要目表 機器仕様による比較
				湿度	・環境湿度(100% <input type="text"/>)	【環境湿度】新規制工認添付資料6(健全性) 2.3項 【設計値】機器仕様による比較
				屋外の天候	— (考慮不要)	—
				放射線(機器)	・環境放射線(≦1.5MCy/y <input type="text"/>)	【環境放射線】新規制工認添付資料6(健全性) 2.3項 【設計値】機器仕様による比較
				放射線(被ばく)	— (操作不要)	—
				海水	— (海水を通水しない)	—
				電磁波	・電磁波の影響を受けるような電子部品を含む制御回路を組み込まない	【構造図】第1図
				荷重	・圧力荷重、温度荷重及び機械的荷重が作用する場合においても機能を有効に発揮できる設計(添付資料8、9) ・自然現象(地震)による荷重に対する設計については、添付資料8に基づき実施	・添付資料8(耐震) ・添付資料9(強度)
				他設備からの影響	・自然現象(地震、溢水)による他の設備からの悪影響により、安全機能が損なわれないように、技術基準規則第5条「地震による損傷の防止」、第12条「発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止」に基づく設計 (他の設備からの悪影響のうち、火災に係る設計については、新規制適合性審査の設計から変更はない)	・添付資料5(溢水) ・添付資料8(耐震)
冷却材の性状	— (考慮不要)	—				

玄海原子力発電所 第3号機 第14条第2項に対する適合性の整理表(2/3)

原子炉冷却系統施設				弁 3V-CS-005A,B,C～格納容器貫通部(貫通部番号436)	参照資料	
第14条	第2項	安全施設	環境条件における健全性	温度	・環境温度(144℃ <input type="text"/>)	【設置場所】C/V内 【環境温度】新規制工認添付資料6(健全性) 2.3項 【設計値】本文要目表 機器仕様による比較
				圧力	・環境圧力(0.392MPa <input type="text"/>)	【環境圧力】新規制工認添付資料6(健全性) 2.3項 【設計値】本文要目表 機器仕様による比較
				湿度	・環境湿度(100% <input type="text"/>)	【環境湿度】新規制工認添付資料6(健全性) 2.3項 【設計値】機器仕様による比較
				屋外の天候	— (考慮不要)	—
				放射線(機器)	・環境放射線(≦1.5MCy/y <input type="text"/>)	【環境放射線】新規制工認添付資料6(健全性) 2.3項 【設計値】機器仕様による比較
				放射線(被ばく)	— (操作不要)	—
				海水	— (海水を通水しない)	—
				電磁波	・電磁波の影響を受けるような電子部品を含む制御回路を組み込まない	—
				荷重	・圧力荷重、温度荷重及び機械的荷重が作用する場合においても機能を有効に発揮できる設計(添付資料8、9) ・自然現象(地震)による荷重に対する設計については、添付資料8に基づき実施	・添付資料8(耐震) ・添付資料9(強度)
				他設備からの影響	・自然現象(地震、溢水)による他の設備からの悪影響により、安全機能が損なわれないように、技術基準規則第5条「地震による損傷の防止」、第12条「発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止」に基づく設計 (他の設備からの悪影響のうち、火災に係る設計については、新規制適合性審査の設計から変更はない)	・添付資料5(溢水) ・添付資料8(耐震)
冷却材の性状	— (考慮不要)	—				

玄海原子力発電所 第3号機 第14条第2項に対する適合性の整理表(3/3)

原子炉冷却系統施設				弁 3V-CS-008～非再生冷却器	参照資料	
第14条	第2項	安全施設	環境条件における健全性	温度	・環境温度(55℃) <input type="text"/>	【設置場所】C/V外(アニュラス部) 【環境温度】新規制工認添付資料6(健全性) 2.3項 【設計値】本文要目表 機器仕様による比較
				圧力	・環境圧力(大気圧) <input type="text"/>	【環境圧力】新規制工認添付資料6(健全性) 2.3項 【設計値】本文要目表 機器仕様による比較
				湿度	・環境湿度(100%) <input type="text"/>	【環境湿度】新規制工認添付資料6(健全性) 2.3項 【設計値】機器仕様による比較
				屋外の天候	— (考慮不要)	—
				放射線(機器)	・環境放射線(≦0.3MCy/y) ≦設計値(0.3MCy/y)	【環境放射線】新規制工認添付資料6(健全性) 2.3項 【設計値】機器仕様による比較
				放射線(被ばく)	— (操作不要)	—
				海水	— (海水を通水しない)	—
				電磁波	・電磁波の影響を受けるような電子部品を含む制御回路を組み込まない	—
				荷重	・圧力荷重、温度荷重及び機械的荷重が作用する場合においても機能を有効に発揮できる設計(添付資料8、9) ・自然現象(地震)による荷重に対する設計については、添付資料8に基づき実施	・添付資料8(耐震) ・添付資料9(強度)
				他設備からの影響	・自然現象(地震、溢水)による他の設備からの悪影響により、安全機能が損なわれないように、技術基準規則第5条「地震による損傷の防止」、第12条「発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止」に基づく設計 (他の設備からの悪影響のうち、火災に係る設計については、新規制適合性審査の設計から変更はない)	・添付資料5(溢水) ・添付資料8(耐震)
冷却材の性状	— (考慮不要)	—				